

感染症情報 7月24日～30日

府下小児科195医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	577例(堺市	51例)
②ヘルパンギーナ	444例(堺市	49例)
③溶連菌感染症	422例(堺市	36例)
④咽頭結膜熱	326例(堺市	29例)
⑤RSウイルス感染症	232例(堺市	14例)

府下300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 275例(堺市 30例)

前週比1.9%減の2,173件の報告数であった。感染性胃腸炎が府下で前週比11%増、堺市で前週36例→今回51例であった。ヘルパンギーナは府下で26%減、堺市で76例→49例であった。溶連菌感染症が府下が13%増、堺市で前週40例→今回36例。咽頭結膜熱が府下で14%増、堺市で前回27例→今回29例。RSウイルス感染症が府下で18%減、堺市で23例→14例であった。集計には出てこないが、当科周囲ではヒト・メタニューモウイルス感染症が増えてきている。

インフルエンザが府下で前週253例→275例で9%増、堺市で前週26例→今回30例であった。定点当たり大阪府は0.85→0.92、堺市で0.90→1.03(流行期入り?)であった。

府下300医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 4,399例(堺市 480例)
大阪府定点 14.66 堺市定点 16.55

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
171	350	408	705	449	411	474	521	354	308	248	4399

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週4,028例→今回4,399例で9%増、定点当たり13.56→14.66に、堺市は前週467例→今回480例で3%増、定点当たり16.10→16.55であった。大阪府のブロック別の定点当たりでは、堺市ブロックは先週に続いて2番目に多い。

麻疹や風疹の報告はなかった。